

平成 22 年度  
(H22. 4. 1~23. 3. 31)  
学校法人川口学園  
埼玉女子短期大学

## 事業報告書

### 1. 事業の概要

平成 22 年度、本学が行った取り組み等は次のとおりです。

平成 22 年度の新入生は商学科 190 名、国際コミュニケーション学科 172 名の合計 362 名（前年 445 名）となりました。入学生数については、より慎重に取組み、定員超過率 120.7%に落ち着きました。

景気低迷による就職環境の悪化にもかかわらず、本学独自の「キャリア短大」を少しずつ進化、推進させることにより、「就職に強い SAIJO」として、就職内定率 90.7%（前年 92.1%）を達成することができました。「キャリア短大」としての特色であるインターンシップには、多数の企業のご理解とご協力のもと今年度も延べ 118 社、225 名（前年 215 名）の学生が参加し、例年どおり意欲的な展開をみせていました。

また（財）短期大学基準協会による平成 22 年度第三者評価は予定通り行われ、その結果、同協会の定める基準を満たし、「適格」と認定されました。

### 2. 定員と学生の状況

平成 22 年 5 月 1 日現在の入学定員、総定員、総在籍数、定員充足率は以下のとおりです。

学科名	入学定員	総定員	総在籍数／定員充足率
商学科	150 名	300 名	430／143.3%
国際コミュニケーション学科	150 名	300 名	362／120.7%
合 計	300 名	600 名	792／132.0%

平成 23 年 5 月 1 日現在の入学定員、総定員、総在籍数、定員充足率は以下のとおりです。

学科名	入学定員	総定員	総在籍数／定員充足率
商学科	150 名	300 名	337／112.3%
国際コミュニケーション学科	150 名	300 名	276／92.0%
合 計	300 名	600 名	613／102.2%

### 3. 財務の概要

平成23年3月末日現在の財務状況と当期の予算執行状況について、その概況と計算書類について報告いたします。

#### (1) 財産目録

### 財 産 目 録

平成23年3月31日現在

I. 資産総額	金 8,753,428 千円
内 基本財産	金 6,468,738 千円
運用財産	金 2,284,690 千円
II. 負債総額	金 1,968,292 千円
III. 正味財産	金 6,785,136 千円

区 分	金 額
<資産額>	
1. 基本財産	
土地	64,352.28 m <sup>2</sup> 3,603,626 千円
建物	16,049.95 m <sup>2</sup> 2,567,146 千円
構築物	27 点 56,826 千円
図書	61,907 冊 191,228 千円
教具・校具・備品	2,329 点 33,253 千円
その他	722 点 16,659 千円
2. 運用財産	
現金預金	1,274,338 千円
その他	1,010,352 千円
資 産 総 額	8,753,428 千円
<負債額>	
1. 固定負債	
長期借入金	495,240 千円
その他	363,398 千円
2. 流動負債	
短期借入金	137,372 千円
その他	972,282 千円
負債総額	1,968,292 千円
<正味財産> (資産総額－負債総額)	6,785,136 千円

## (2) 貸借対照表

決算時（年度末）における資産・負債・基本金及び収支差額を把握するもので、法人の財政状態を表しています。

平成22年度末の資産は87億5千3百万円であり、前年度末に比べ2億3千万円減少しています。減価償却により固定資産が減少し、現預金も減少しました。負債は、長期借入金返済等により2億8千2百万円減少しました。

総資産から総負債を差し引いた正味財産は67億8千5百万円となり、前年度に比べ5千3百万円の増加となりました。

### 貸借対照表

平成23年3月31日現在

(単位千円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	7,393,036	7,547,381	△154,345
有形固定資産	7,077,739	7,233,622	△155,883
土地	4,157,819	4,157,819	0
建物	2,621,817	2,772,460	△150,643
その他の有形固定資産	298,103	303,343	△5,240
その他の固定資産	315,297	313,759	1,538
流動資産	1,360,392	1,436,422	△76,030
現金預金	1,274,338	1,362,166	△87,828
その他の流動資産	86,054	74,256	11,798
資産の部合計	8,753,428	8,983,803	△230,375

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	858,638	960,250	△101,612
長期借入金	495,240	632,612	△137,372
その他の固定負債	363,398	327,638	35,760
流動負債	1,109,654	1,290,999	△181,345
短期借入金	137,372	137,372	0
その他の流動負債	972,282	1,153,627	△181,345
負債の部合計	1,968,292	2,251,249	△282,957

基本金の部			
科 目	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	8,881,688	8,867,403	14,285
第2号基本金	0	0	0
第3号基本金	55,000	55,000	0
第4号基本金	231,000	231,000	0
基本金の部合計	9,167,688	9,153,403	14,285

消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増減
翌年度繰越消費支出超過額	2,382,552	2,420,849	38,297
消費収支差額の部合計	△2,382,552	△2,420,849	38,297
負債の部、基本金の部、消費収支差額の部合計	8,753,428	8,983,803	△230,375



### (3) 資金収支計算書

資金収支計算書とは、当該会計年度の諸活動に対する全ての収入・支出内容を明らかにし、かつ支払資金（現金及びいつでも引き出すことのできる預貯金）の収入・支出の顛末を明らかにするものです。

平成22年度の資金収入は合計32億5千4百万円となり、前年度に比べ3千2百万円増加しました。学生生徒納付金収入は減少しましたが、私立大学経常費補助等の補助金が増加したことによるものです。

資金支出では、それほど大きな変化は見られず、次年度に繰り越す支払資金は12億7千4百万円となっています。

### 資金収支計算書

平成22年4月1日～平成23年3月31日

(単位千円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,574,400	1,574,400	0
手数料収入	10,100	10,372	△272
補助金収入	115,889	123,663	△7,774
国庫補助金収入	114,500	121,497	△6,997
地方公共団体補助金収入	1,389	2,166	△777
資産運用収入	50,188	52,629	△2,441
資産売却収入	244,051	244,052	△1
事業収入	44,275	44,745	△470
雑収入	16,682	16,191	491
前受金収入	772,367	843,575	△71,208
その他の収入	66,055	82,894	△16,839
資金収入調整勘定	△1,082,887	△1,100,075	17,188
前年度繰越支払資金	1,362,166	1,362,166	0
収入の部合計	3,173,286	3,254,612	△81,326
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	759,051	762,074	△3,023
教育研究経費支出	562,647	563,705	△1,058
管理経費支出	323,852	325,152	△1,300
借入金等利息支出	16,942	16,942	0
借入金等返済支出	137,372	137,372	0
施設関係支出	4,718	4,810	△92
設備関係支出	19,710	20,793	△1,083
資産運用支出	151,104	151,104	0
その他の支出	104,989	105,043	△54
予備費	5,000	0	5,000
資金支出調整勘定	△79,686	△106,721	27,035
次年度繰越支払資金	1,167,587	1,274,338	△106,751
支出の部合計	3,173,286	3,254,612	△81,326

#### (4) 消費収支計算書

消費収支計算書は、当該会計年度における消費収支の均衡状況とその内容を明らかにし、学校法人の経営状況が健全であるかを示すもので、いわば企業会計の損益計算書に当たるものです。

平成22年度の帰属収入は合計19億2千4百万円であり、前年度に比べ1億2千2百万円増加しました。これも資金収支計算書と同様に学生生徒納付金収入は減少したものの、私立大学経常費補助等の補助金が8千5百万円増加したこと及び株式の売却差額によるものです。基本金組入を1千4百万円したことにより、19億9百万円が消費収入となり、前年度に比べ1億1千万円増加しました。

消費支出の合計では、18億7千1百万円となり、前年度に比べ2千4百万円の減少となり、消費収入から消費支出を差し引いた3千8百万円の収入超過となりました。

平成22年度からスタートしている中期計画に基づき、今後も教育研究、財政を含めた経営改善に努めていきます。

### 消費収支計算書

平成22年4月1日～平成23年3月31日

(単位千円)

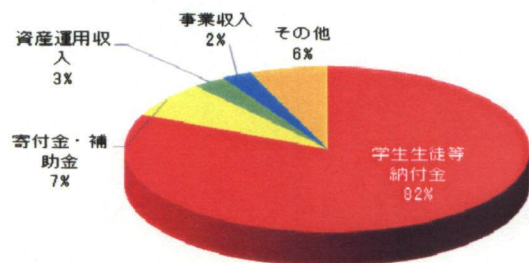
消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	1,574,400	1,574,400	0
手数料	10,100	10,372	△272
寄付金	8,900	9,091	△191
補助金	115,889	123,663	△7,774
国庫補助金収入	114,500	121,497	△6,997
地方公共団体補助金収入	1,389	2,166	△777
資産運用収入	50,188	52,629	△2,441
資産売却差額	92,940	92,948	△8
事業収入	44,275	44,745	△470
雑収入	16,682	16,191	491
帰属収入合計	1,913,374	1,924,039	△10,665
基本金組入額合計	△15,000	△14,286	△714
消費収入の部合計	1,898,374	1,909,753	△11,379
消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	758,904	769,420	△10,516
教育研究経費	711,347	709,470	1,877
管理経費	368,052	368,235	△183
借入金等利息	16,942	16,942	0
資産処分差額	0	2,082	△2,082
徴収不能引当金繰入額等	6,000	5,308	692
予備費	5,000	0	5,000
消費支出の部合計	1,866,245	1,871,457	△5,212
当年度消費収入超過額	32,129	38,296	
前年度繰越消費支出超過額	2,420,849	2,420,849	
翌年度繰越消費支出超過額	2,388,720	2,382,553	



## ■ 帰属収入・消費収支構成比

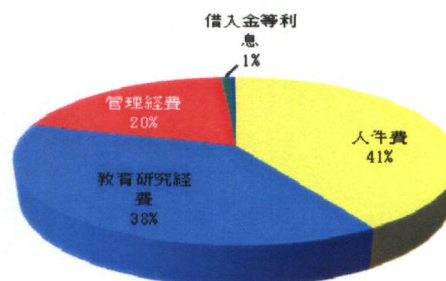
□ 帰属収入構成比

合計 1,909,629 千円



□ 消費支出構成比

合計 1,871,449 千円



## ■ 消費収支差額3か年推移

単位：千円

	20年度	21年度	22年度
消費収入の部合計	1,933,011	1,799,228	1,909,629
消費支出の部合計	1,932,713	1,895,843	1,871,449
当年度繰越消費収入超過額	298	△ 96,615	38,180

以上